

ビニスト®ショートII 施工手順

(適用管は水道用ゴム輪形塩化ビニル管 JWVA K127 I・II形)

(呼び径40・50)

1. 分解



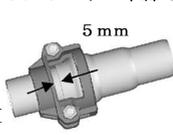
片方のボルト・ナットを外す。
もう一方のボルト・ナットはパイプが入るだけ緩める。

2. 受口部に装着し仮止め



受口部を挟み込むように装着し、ボルト・ナットで仮止める。

3. ボルトの本締め



締付部とVP受口端部を5mmの位置にし、ナットを均等に本締めする。

呼び径	標準締付トルク N・m (ボルトサイズ)
40	25 ～35 (M10)
50	35 ～45 (M12)

※太字: 下限値

(呼び径75～150)

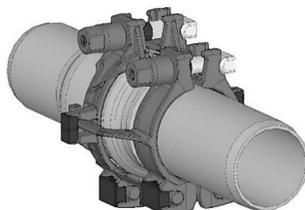
①分解



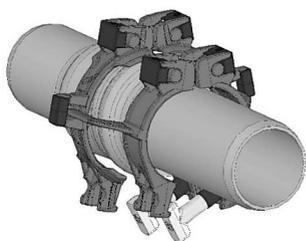
2本のボルト・ナットのT頭部分を外し、締付・連結バンドを開放する。

④本締め準備

ボルト・ナットがパイプ上部に向くように、締付・連結バンドを回す。



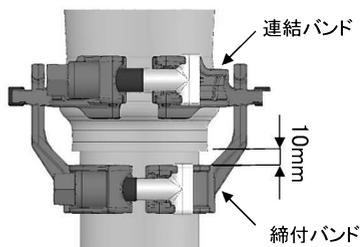
②取付



連結バンドをパイプ受口部の山形状に合わせて、締付・連結バンドをパイプに被せる。

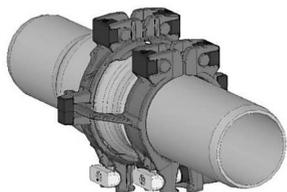
⑤本締め

締付バンドのバンド側面をパイプ受口端から10mm程度離す。
標準締付トルクで締付バンドと連結バンドを交互に均等に本締めする。



③仮締め

T頭部分を元の位置に引掛け、ボルト・ナットを仮締めする。

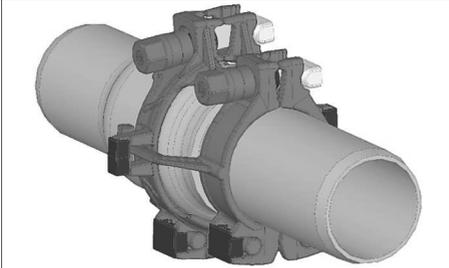


呼び径	標準締付トルク[N・m]		ボルト サイズ
	締付バンド	連結バンド	
75	締付バンドの先端が当たるまで 又は70N・m以上で締め付けて下さい。	50～60	M16
100		50～60	
125		60～70	
150		70～80	

※太字: 下限値

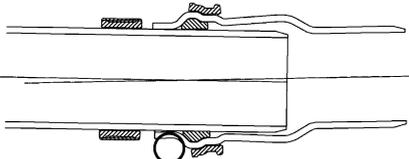
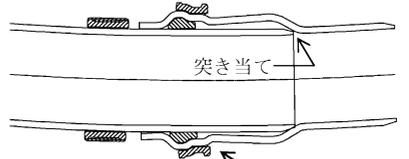
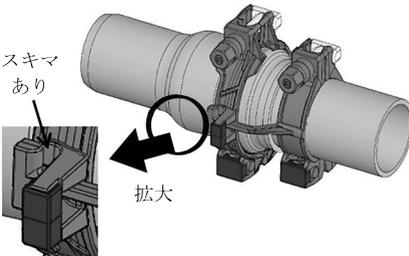
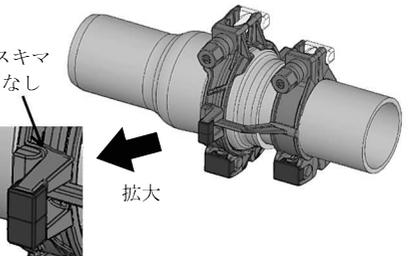
RR 受口の施工における注意事項

① 推奨施工状態



上図のように施工すると、可とうとしても、両側のアームに均等に負荷がかかる。

② 施工状態の比較

	○ 良い例 (標準施工)	× 悪い例 (突き当て+突っ張り施工)
管の施工		
締付バンドの施工		
	正規の伸縮性および可とう性が発揮できるため、可とう時などに受口に過剰な負荷がかからない。	突き当て+突っ張りにより正規の伸縮性および可とう性が発揮できないため、可とう時などに受口に過剰な負荷がかかる。